

CADCity Ver.10.50 機能アップマニュアル

1 - 1

対応 OS

本バージョンの対応 OS 一覧を以下にまとめます。

OS 名称	操作保証	備考
Windows 3.1	×	サポート対象外 OS
Windows 95	×	サポート対象外 OS
Windows 98	×	サポート対象外 OS
Windows Me	×	サポート対象外 OS
Windows NT 4.0	×	サポート対象外 OS
Windows 2000	○	Professional 日本語版
Windows XP 32	○	Professional 日本語版
Windows XP 64	×	未対応 使用できません
Windows VISTA	×	未対応 使用できません

Windows VISTA は、本システム Ver. 10.5 リリース時にマイクロソフト社より正式発売されておらず、未対応 OS です。本システムはご使用できませんのでご注意ください。

プルダウンメニュー 1

1 - 2

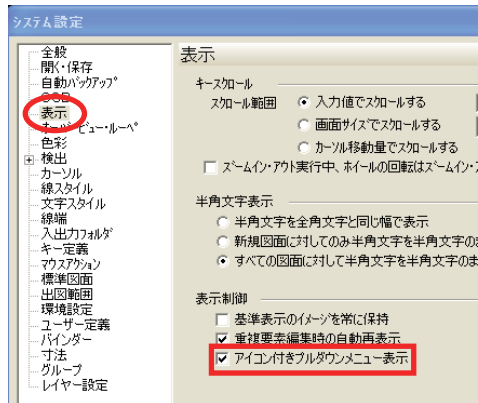
プルダウンメニュー

プルダウンメニューにアイコンを表示させる機能が付加されました。

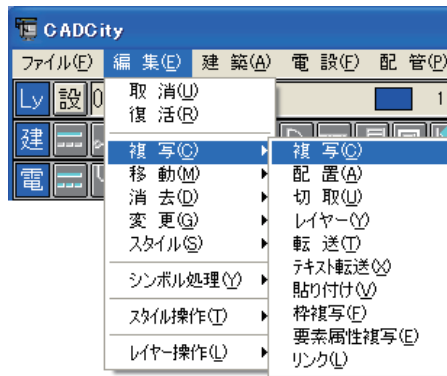
アイコン付きプルダウンメニューは、システム設定 / 表示 / 表示制御の [アイコン付きプルダウンメニュー表示] のオンオフで行います。



従来型のプルダウンメニューへ切り替えることも可能です。
 [補助 / システム設定 / 表示] で行います。



従来型プルダウンメニュー



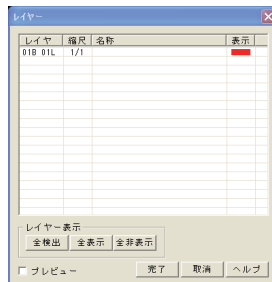
1 - 3

レイヤー操作ツールバー

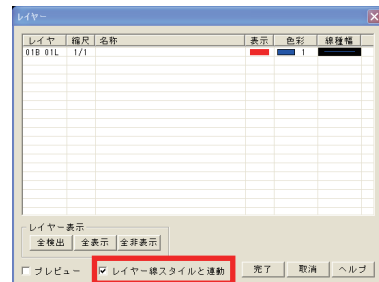
レイヤー操作のツールバーに、レイヤー設定されている線種、線幅等を表示するようにしました。

表示させるには、レイヤーツールバーの設定から、ダイアログボックスを開き、[レイヤー線スタイルと連動]にチェックを入れます。

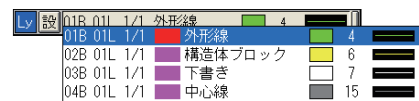
【Ver10.0】



【Ver10.5】



レイヤー操作ツールバー

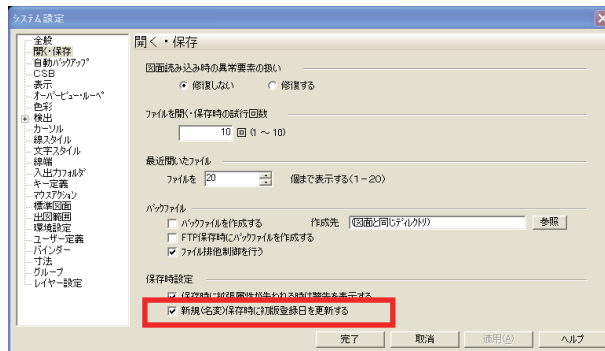


2 - 1

新規（名変）保存

既存図面を編集し、新規（名変）保存をした場合、システム設定 / 開く・保存にチェックを追加し、図面属性の「初版登録日」を当日の日付にできるようにしました。

[補助 / システム設定 / 開く・保存]

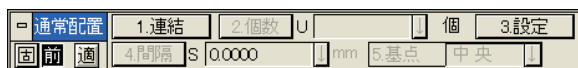


2-2

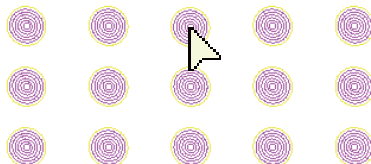
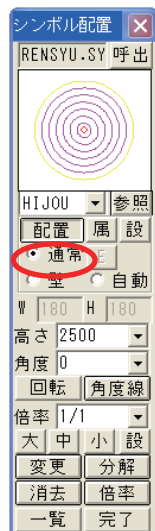
シンボル配置

シンボル配置の通常モードで、縦横個数を指定した連結配置が可能となりました。

[Ver. 10.0]



[Ver. 10.5]



2 - 3

図面文字列検索

図面文字列検索で、検索ヒットした図面をあらかじめフォーカスオンにして、開くボタン一回ですべての図面を開けるようにしました。

[ファイル / 図面文字列検索]

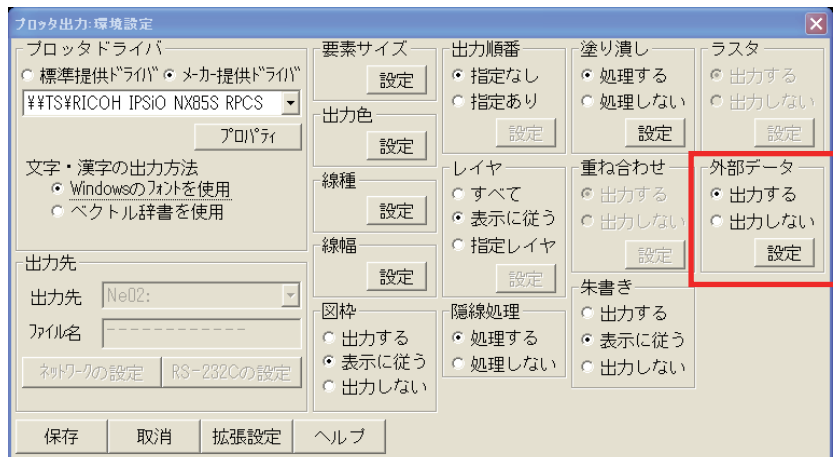


出図 1

2 - 4

出図

外部データの出図設定が追加されました。



2 - 5

連続出力

連続出力コマンドから、メーカードライバへ出力する際、出図コマンドで指定したトレイへ出力されるようになりました。

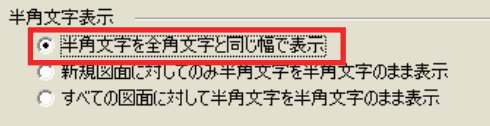
連続出力コマンドで出力する際のトレイ選択が、従来は各プリンタ、プロッタのデフォルト設定に従っていましたが、本バージョンより、出図コマンドで指定したトレイへ出力されるようになりました。

2 - 6

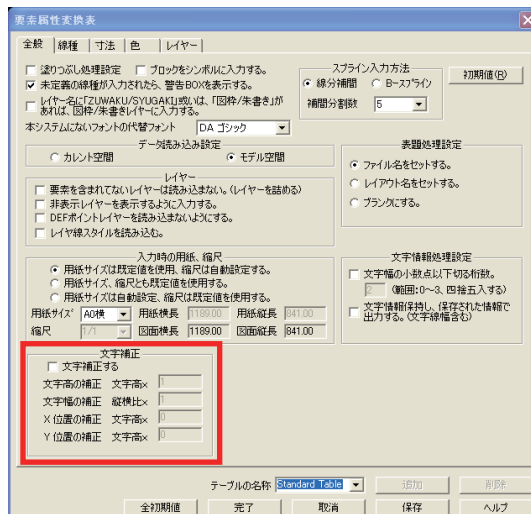
DXF/DWG 入出力

文字の表示設定で [半角文字を全角文字と同じ幅で表示] に設定している場合、すべて全角で出力するようにしました。変換条件設定に、文字補正の項目が追加されました。

[補助 / システム設定 / 表示] で下図のように設定したとき、半角文字が全角文字と同じ幅で出力されます。(DXF/DWG 出力)



[変換条件設定 / 要素属性変換表 / 全般] に、文字補正の項目が追加されました。補正項目は「文字高」「文字幅」「X位置」「Y位置」です。(DXF/DWG 入出力)



2 - 7

Jw_cad 入力

Jw_cad の Ver. 5. 02a の入力に対応しました。

Jw_cad の Ver. 5. 02a の入力に対応しました。

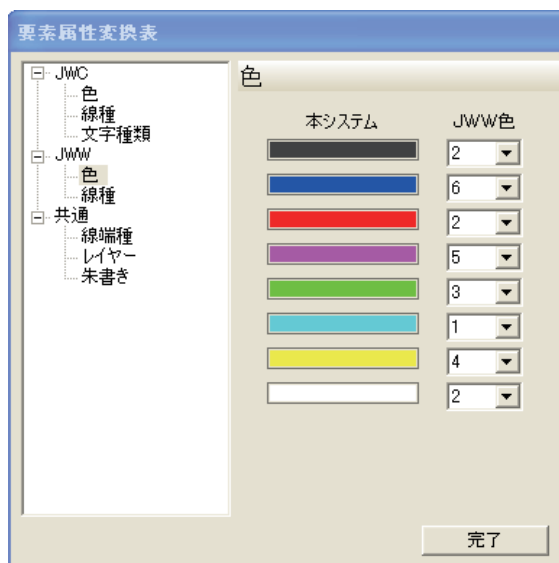
2 - 8

Jw_cad 出力

Jw_cad 出力で、*. JWW 形式の出力に対応しました。

Jw_cad 出力で、*. JWW 形式の出力に対応しました。JWW の出力バージョンは、Ver. 3. 51 です。

[ファイル / 外部出力 / Jw_cad]



2-9

MCAD 入出力

MCAD 入出力で、機能追加をしました。

MCAD 入出力で、以下の項目の機能を追加しました。

[ファイル / 外部入出力 / MCAD]

1. オーバーレイ図面对応

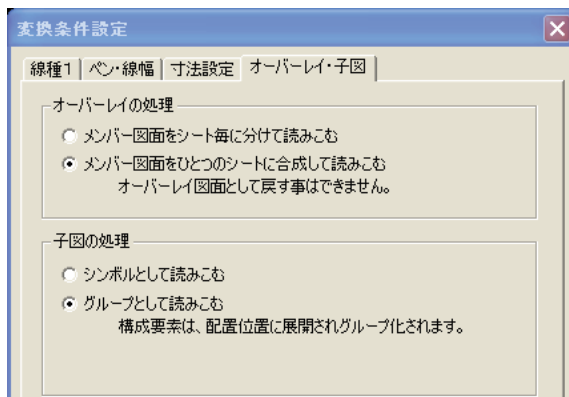
オーバーレイ図面をバインダーのシートとして読み込み、関係を保持するようにしました。出力の際もオーバーレイとして出力できます。システム設定により従来型との切り替えが可能です。

2. 子図のシンボル対応

子図をシンボルとして読み込む機能を追加しました。従来型のグループで読み込むか、シンボルで読み込むかを設定できます。

3. 寸法グループ

平行寸法の外寸を本システムの外寸として認識できるようにしました。



3 - 1

レイヤー設定

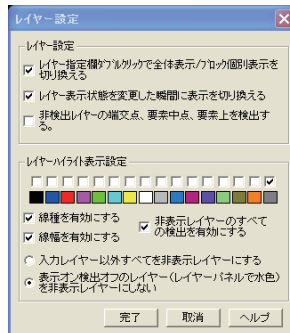
プルダウンメニューにコマンドとしてあったレイヤー設定を、システム設定に移動しました。

プルダウンメニューの [編集 / レイヤー操作] にコマンドとしてあったレイヤー設定を [システム設定 / レイヤー設定] に移動しました。

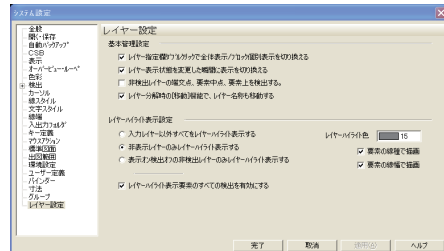
また、以下の新しいチェック機能を追加しました。

- ・表示オン検出オフの非検出レイヤーのみハイライト表示するチェック
(右パネルのレイヤー表示で水色表示されたレイヤーをハイライト)
- ・レイヤー分解の移動機能で、レイヤー名称も移動する。
[補助 / システム設定 / レイヤー設定]

【Ver10.0】



【Ver10.5】



リンク 1

3 - 2

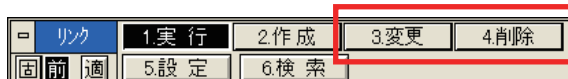
リンク

リンクコマンドのCSBに [変更] [削除] ボタンを追加しました。

従来は、ALT キーや SHIFT キーを押しながら設定していました。

ボタン追加により、リンク削除機能で、複数リンクがある要素を選択する際、リンク選択ポップアップメニューの表示ができない問題を解決しました。(Windows 内部で、ALT キーはポップアップメニューを閉じる処理とみなすため、ポップアップメニューの表示ができない)

[編集 / 複写 / リンク]

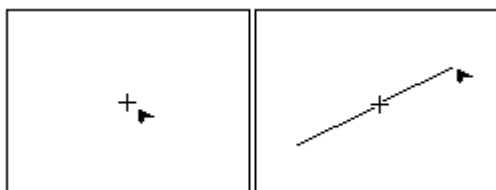


4 - 1

線分

線分コマンドに中心点から作図するモードを追加しました。

[作図 / 直線 / 線分]



始点

終点

基準寸法 2 1

4 - 2

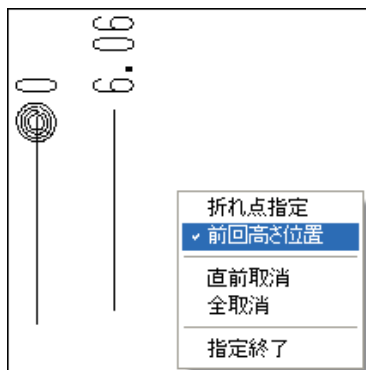
基準寸法 2

基準寸法のポップアップメニューに機能を追加しました。

基準寸法のポップアップメニューに以下の機能を追加しました。

[作図 / 寸法 / 基準寸法 2]

1. 前回高さ位置のチェックオンオフの保存
2. 階層化されていた折れ点指定を上位に移動しました。



4 - 3

文字

文字コマンドの機能を追加しました。

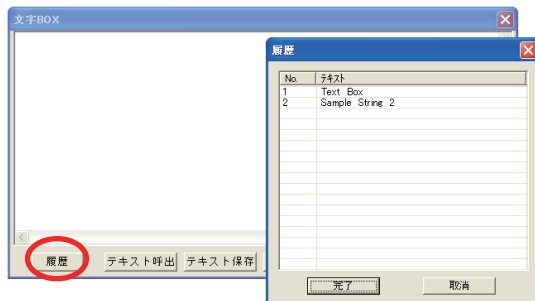
文字コマンドに以下の機能を追加しました。

[作図 / 文字記入 / 文字]

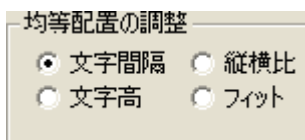
1. 文字の日付作成でピリオドで区切る。

2006.12.19

2. 文字ボックスで履歴を保持する。



3. 均等配置の際に文字高も自動的に調節して均等配置する文字設定ダイアログボックスより指定します。

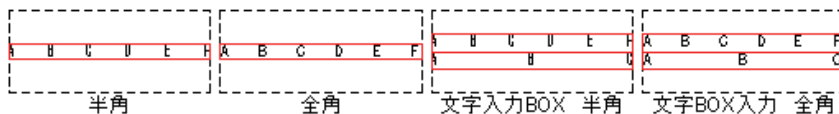


モード	文字間隔	文字高	縦横比
文字間隔(従来型)	変動	設定値	設定値
文字高	設定値	変動	設定値
縦横比	設定値	設定値	変動
フィット	設定値	変動	変動

文字数×文字幅+（文字数-1）×文字間隔=文字列長さ
 文字数×文字高×縦横比+（文字数-1）×文字間隔=文字列長さ

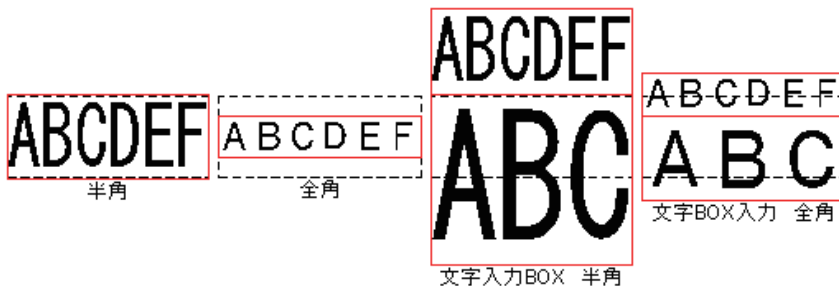
文字間隔

文字間隔 = (文字列長さ - 文字数 × 文字高 × 縦横比) / (文字数 - 1)



文字高

文字高 = { 文字列長さ - (文字数 - 1) × 文字間隔 } / (文字数 × 縦横比)



縦横比

縦横比 = { 文字列長さ - (文字数 - 1) × 文字間隔 } / (文字数 × 文字高)



フィット

文字高 = (仮想矩形の高さ ÷ 文字列) とし、縦横比を計算する



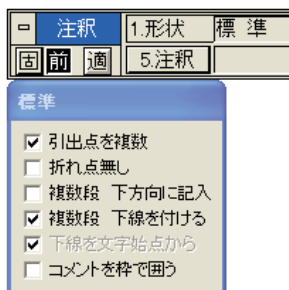
4 - 4

注釈 2

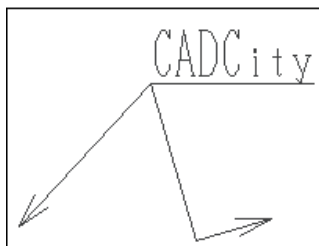
注釈 2 コマンドに機能を追加しました。

注釈 2 コマンドに以下の機能を追加しました。

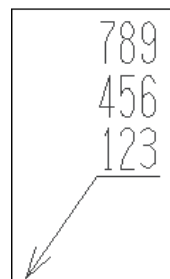
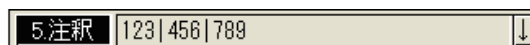
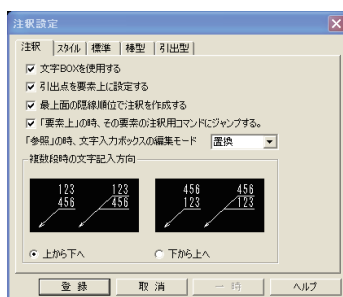
[作図 / 文字記入 / 注釈 2]



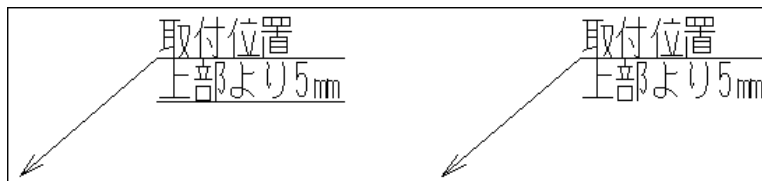
1. 引出線を複数



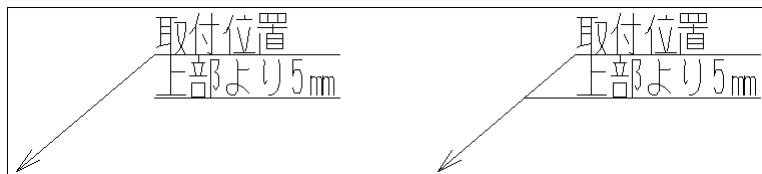
2. 複数段の文字記入方向 上から下を追加



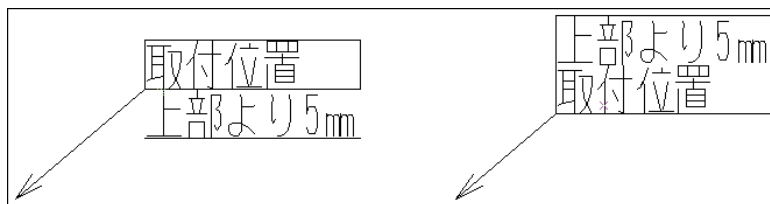
3. 下線を付ける / 付けないを追加



4. 下線を文字始点に合わせるモードを追加



5. コメントを枠で囲うモードを追加



バルーン 1

4 - 5

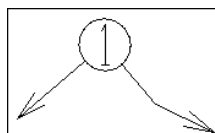
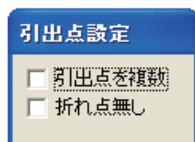
バルーン

バルーンコマンドに機能を追加しました。

バルーンコマンドに以下の機能を追加しました。

[作図 / 文字記入 / バルーン]

1. 引出点を複数



2. バルーン形状の変更

CSBの[変更]ボタンで、作図したバルーンの形状を変更できるようにしました。文字部分をマウス左ボタンでクリックします。



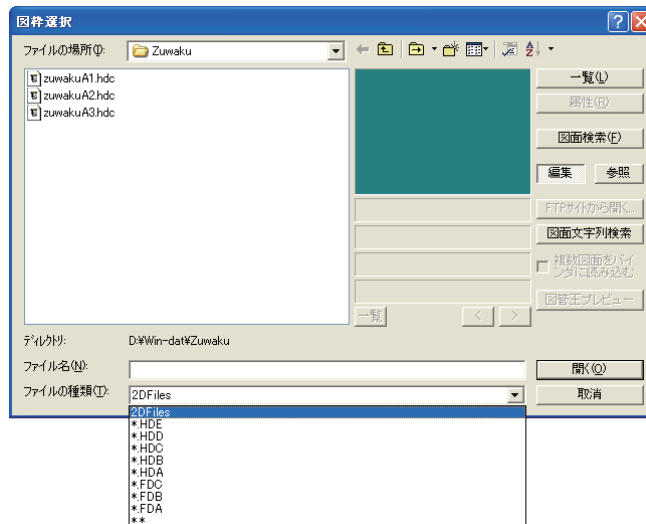
5 - 1

図枠呼出 / 図枠登録

図枠呼出 / 登録コマンドで、HDD ファイルに対応しました。

HDD ファイルの図枠は最初の 1 シートのみが図枠として保存されます。
ほかのシートは図枠保存の際、保存されません。

[補助 / 図枠 / 図枠登録・呼出]



ツールバー 1

5 - 2

ツールバー

ツールバーにオンラインヘルプのアイコンツールバーを追加しました。



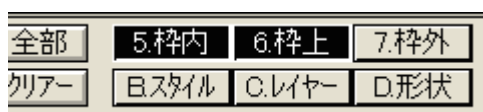
5 - 3

システム設定 /CSB/ 選択 CSB

枠選択モードに新機能が追加されました。

5. 枠内 6. 枠上をオンにして要素を検出した際に、[BS キー] で枠上にかかった要素のみを検出条件から外します。

再度 [BS キー] を押すことにより、不要な要素をワンタッチで外せ、目的の要素のみを検出させることができます。



枠を囲います。



対象要素が赤変します。



BS キーを押すと、枠上にかかった要素を除外します。



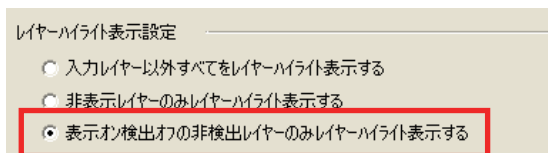
5 - 4

システム設定 / レイヤー設定 / レイヤーハイライト表示

レイヤー設定に、非検出レイヤーのみのハイライト表示が追加されました。

非表示レイヤーはハイライトしない（非検出レイヤーのみのハイライト）モードを追加しました。システム設定 / レイヤー設定にて設定します。

[補助 / システム設定 / レイヤー設定]



基本管理設定 1

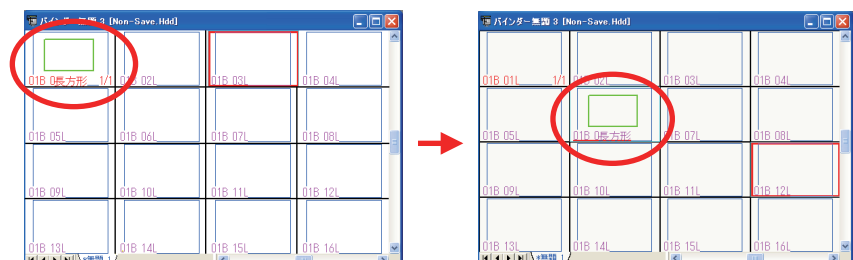
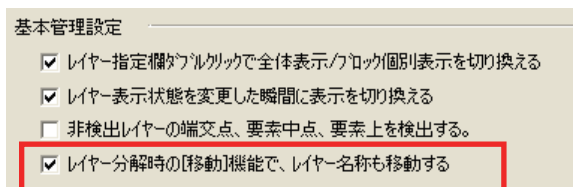
5 - 5

システム設定 / レイヤー設定 / 基本管理設定

レイヤー分解の [移動] コマンドで、レイヤー名称も同時に移動できるようにしました。

レイヤー分解の [移動] コマンドで、レイヤー名称も同時に移動できるようにしました。システム設定 / レイヤー設定にて設定します。

[補助 / システム設定 / レイヤー設定]



5 - 6

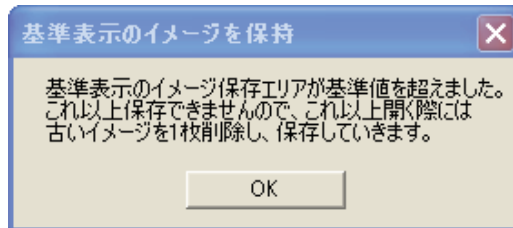
システム設定 / 表示 / 基準表示のイメージ保持

大量の枚数の図面を開いた時、Windows の制限でオンメモリ上に保存できなくなる場合があります。このような時に最も古いイメージを 1 枚削除し、今回分を保持するようにしました。

基準表示のイメージ保持は、ビットマップデータとしてオンメモリ上に保存されます。このため、大量の枚数の図面を開いた場合、Windows の制限でオンメモリ上に保存できなくなる場合があります。

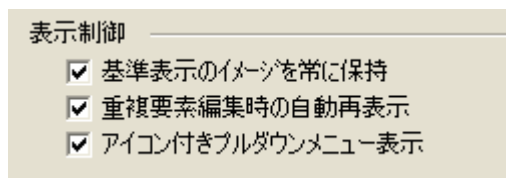
このような状態になった時は、他の図面ウインドウの最も古いイメージを 1 枚削除し、今回分を保持するようにしました。

バッファをオーバーした場合、以下のダイアログボックスを一度だけ表示し、以降はこのメッセージを表示しません。



また、基準表示のイメージを保持にチェックを入れた場合、表示高速化のため、キーボードからの再表示 (Pageup2 回) は使用できません。再表示が必要な場合は、プルダウンメニュー [表示 / 再表示] からコマンドを選択してください。

[補助 / システム設定 / 表示]

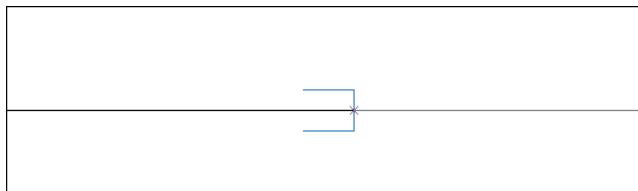


6-1

エンド伏せ

同じ線種でのエンド伏せ作図が可能になりました。

下図のような作図が可能になりました。



ただし、施工スタイル（線種と色）が同じ場合は作図できません。あくまで線種のみが同じ場合に作図可能です。

注意！

Estima 集計の情報付加コマンドを使用する時の注意事項

情報付加コマンドは、同じ線種は同じ施工方法とみなして情報を付加しますので、同じ線種でエンド伏せを実行する時は、注意してください。

7 - 1

外部データ貼り付け

本バージョンより、新しいオプションとして、「外部データ貼り付け」が追加されました。

概要

本バージョンより、新しいオプションとして、「外部データ貼り付けオプション」が追加されました。

外部貼り付けオプションは、従来の「カラーラスタライต์オプション」では不可能だったカラー画像を複数枚貼り付けることが可能です。

また、WORD、エクセル、パワーポイント、PDF のページや部分を切り取って貼り付けることも可能です。

ラスタ画像を複数貼り込みたい、MS-OFFICE のドキュメントをそのまま CAD 図面に貼り込みたいという必要がある際は、外部データ貼り付けオプションの導入をご検討ください。

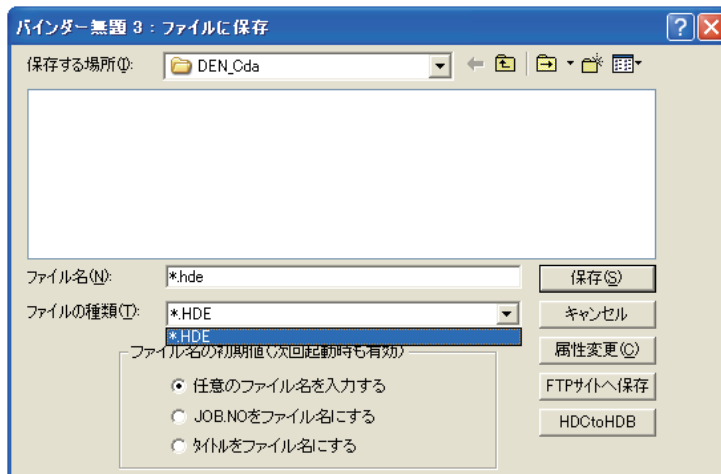
[オプション / 外部データ貼り付け]

保存拡張子 HDE

外部データ貼り付けされた図面は、*.HDE という拡張子で保存します。

HDE は、本システム Ver. 10.5 より外部データ貼り付け用にサポートされた拡張子ですので、外部データオプションを使用しない場合は、従来の HDC または HDD にてご利用ください。

通常の図面を HDE として保存することは可能ですが、下位バージョンでは、読み込むことができません。



シーケンス新規保存も同じように外部データが貼り付けられている場合、HDEの形式で保存されます。

